

1. 授業の概要(ねらい)

ヒト、モノ、カネ、情報が自由に国境を超え、経済活動のグローバル化が進む中で、国際金融を学ぶ意義はますます大きくなっているといえます。国際金融論I、IIで、国際金融の基礎を学んでいきましょう。国際金融論Iでは、「外国為替」と「国際収支」のテーマを取り上げます。基礎理論とともに、日々の経済事象の中からテーマに関連する話題を提供し、授業の中で議論していきます。

2. 授業の到達目標

国際金融の基礎の中で重要な項目である「外国為替」と「国際収支」のテーマについて、基礎理論と具体的事象についての理解力を身に付けること。

3. 成績評価の方法および基準

詳細は、履修状況を見て決めますが、授業への出席及び授業内で実施する理解度チェック(50%)と期末試験の結果(50%)を総合的に勘案して評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

国際通貨研究所編 『外国為替の知識』 日本経済新聞出版社

参考文献

佐久間浩司著 『国際金融の世界』 日本経済新聞出版社

5. 準備学修の内容

前回の授業の復習・課題の準備を行うことで、次の授業に備えてください。5回ごとに授業の内容の理解を確認しながら進めていきます。

6. その他履修上の注意事項

日ごろから、国際金融に関連する報道などに関心をもって接するように心がけましょう。授業の中でも、国際金融に関する興味深い記事や動画を紹介していきます。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション: 授業内容の概要と授業の進め方について
- 【第2回】 テーマ1「外国為替」: 円高、円安。ドル、ユーロ、ルーブル、バーツ……。私たちの身近にある外国為替。
- 【第3回】 テーマ1「外国為替」: 外国為替相場の見方
- 【第4回】 テーマ1「外国為替」: 外国為替市場について

- 【第5回】 理解度チェック1: 第1回から第5回の内容の理解度を確認します
- 【第6回】 テーマ1「外国為替」: 企業財務と外国為替: 先物取引とオプション取引
- 【第7回】 テーマ2「国際収支」: 国際収支統計の見方
- 【第8回】 テーマ2「国際収支」: 経常収支の調整と為替相場
- 【第9回】 テーマ2「国際収支」: 国際収支の発展段階説
- 【第10回】 理解度チェック2: 第6回から第9回までの内容の理解を確認します

- 【第11回】 ケーススタディ1: (例示) デジタル通貨と国際金融
- 【第12回】 ケーススタディ2: (例示) 縮小する中国の経常黒字とその意味
- 【第13回】 ケーススタディ3: (例示) 高金利通貨トルコ・リラは「買い」か?

- 【第14回】 時事問題研究: 国際金融に関する時事問題について取り上げます
- 【第15回】 理解度チェック3: 第11回から14回までの内容の理解を確認します。